

ヒラマキガイモドキ

Polypylis hemisphaerula (Benson)
異鰓目・ヒラマキガイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

生息確認が少なく、評価するだけの情報が足りない。しかし、今後の動向について注目していく必要がある。

分 布

本州、四国、九州等に分布する。本県においても嶺北から嶺南まで広く分布する。

種の特徴

殻高 2 mm、殻径 7 mm、螺層は 4 層。黄白色から褐色の円盤状で、薄質半透明の右巻き淡水貝。池沼、水田、水路等に生息する。

生息を脅かす要因

湿地の減少や、圃場整備による乾田化や水路のコンクリート化、水草の除去、農薬の散布等による生息環境の悪化が起因である。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014a)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、内山編 (2009)、増田・内山 (2004)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○			○

ヒラマキミズマイマイ

Gyraulus chinensis spirillus (Gould)
異鰓目・ヒラマキガイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

現在、生息確認地が少なくなり、評価するだけの情報が足りない。しかし、今後の動向について注目していく必要がある。

分 布

ほぼ日本全国に分布する。本県においても、嶺北から嶺南まで、自然の豊かな湿地・沼には、広く分布する。

種の特徴

殻径は 5 ～ 6 mm 程度。殻は黄褐色の円盤状で、薄質半透明の右巻き淡水貝。体層周縁に弱い角ができ、種と区別できる。池沼、水田、水路等の止水環境に生息し、ある程度の水質汚濁にも強い。

生息を脅かす要因

圃場整備による乾田化や水路のコンクリート化、自然の湿地の埋め立て、農薬の散布等による生息環境の悪化が起因である。

参考文献 福井県編 (2002)、環境省編 (2014a)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、内山編 (2009)、増田・内山 (2004)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	